

車種別リアカメラキット

取付/取扱説明書

- タウンエースバン (S402M/S412M/S403M/S413M)H20.2~
 - ライトエースバン (S402M/S412M/S403M/S413M)H20.2~ R2.6
 - グランマックスカーゴ (S403V/S413V)R2.9~
 - ボンゴバン (S403Z/S413Z)R2.9~
- ※全車リアアンダーミラー装着車のみ



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

●本製品は、日本国内車両専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了承ください。

ご相談窓口

お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

Data System 株式会社 データシステム

■【本社】東京都新宿区新宿1-18-2 ■【倉敷支社】岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
RCK-113T3/RCK-113T4-2503-AKN

注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

- カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- 自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。カメラ内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。
 - カメラ・カメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変色・変質・変形などの原因となります。
 - レンズを拭く際は、柔らかい布などに水を含ませ軽く拭いてください。強くこすったり乾いた布などで拭いたりすると、レンズに傷がつく原因となります。
- 運転者が運転中に画像表示装置(TV画面など)を注視することは道路交通法で禁じられています(道路交通法第71条)。
- カメラに電源が入った直後やカメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化する場合がありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので故障ではありません。
 - カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。
 - レンズは汚れていたらきれいに拭いてください。レンズが汚れているとカメラ映像が見えにくくなります。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

保証について

本製品は日本車専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんので予めご了承ください。

- 保証書及びユーザー登録はがきは付属していません。保証規定及び保証期間については、弊社Webサイトに掲載しています。
<http://www.datasystem.co.jp/products/warranty.html>



- 日付の入ったレシートや納品書、購入証明書を保証書の代わりとして使用しますので必ず保管の上、検査、修理の際には添付してください。
- 保証期間はレシートや納品書、購入証明書の日付から開始されます。
- 製品保証はユーザー登録の有無に関わらず対象となります。
- 本製品に貼付している封印シールをはがさないでください。はがした場合、保証期間に関わらず保証対象外となります。

ユーザー登録は任意です。ユーザー登録を行うと登録者向けキャンペーンやリコール情報等いち早くお知らせします。専用WEBサイトよりご登録ください。



<https://www.datasystem.co.jp/user/index.html>

仕様

カメラ部			
映像素子	1/4インチ CMOS	有効画素数	32万画素
水平解像度	450TV本	映像信号	NTSC
水平画角	110°	垂直画角	80°
電源	DC9～15V	消費電流	約40mA
動作可能温度	-20℃～+65℃	ヒューズ	1A
重量	約20g(固定金具含む/ケーブル除く)		
出カタイプ	正像/鏡像映像(ガイドライン表示なし)		

カメラカバー部

外形寸法	幅107mm×高さ63mm×奥行き35mm
材質	ウレタン

- 付属の脱脂クリーナーで必ず脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
- カメラカバーのサイズは、気温や湿度などの影響により若干異なる場合があります。

取り付け上の注意

- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- 本製品は12V車専用です。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取り扱い業者でおこなってください。
- 本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。
- 本製品のカバーはウレタン製です。塗装する際は専門業者に依頼してください。塗装には専門の知識が必要です。
- 電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。
- 電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、切断してしまうと回路上の問題が発生して正常動作しなかったり製品や車両側の故障の原因となる場合があります。
- バッテリーマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
- 配線を強く引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- 電源ハーネスのアース線は、車両側電装品のアースポイントまたは車体の金属が露出している場所に接続してください。アース線が正しく接続されていないと、本製品が正常に動作しなかったり製品や車両側の故障の原因となる場合があります。
- 車両側および本製品の配線を傷つけたり圧迫したりしないよう、配線の取り直しには十分ご注意ください。
- カメラカバー及びカメラ本体が車体から脱落しないようしっかりと装着してください。
- 取付説明書に記載されている方法以外の取り付けは絶対におこなわないでください。本来の取り付け方法以外で取り付けられた場合は保証対象外となります。
- 本製品のカメラは、必ずカメラカバーとセットで車両に装着してください。
- 付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは別途延長用のピン端子ケーブルをご用意ください。

内容物一覧

- カメラ ×1
- カメラカバー ×1
- ピン端子ケーブル(6m) ×1
- 電源ハーネス ×1
- コードクリップ ×4
- 脱脂クリーナー ×1
- エレクトロタップ ×2
- 結束バンド ×10
- プチルテープ(6cm)
- カメラカバー固定用両面テープ(細) ×2
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

エレクトロタップのつかいかた

- エレクトロタップの「**ストッパー**が付いていないくぼみ」に、車両の配線を重ねます。
- カバー(A)をしっかりと閉じます。
※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。
- 接続する配線を、エレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込みます。
- カバー(B)をしっかりと閉じます。
※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

取り付けに必要なもの

- ドリル
- 鉄工用ドリルビット
- 一般工具類
- クリップリムーバー
- ビニールテープ
- 養生テープ
- 樹脂製スクレーパー
- 内張りはがし
- 配線通し
- ハサミなど

カバーの塗装について

△本製品のカバーはウレタン製です。塗装するには専門の知識が必要ですので、塗装は専門業者に依頼してください。尚、本製品のカメラカバーは艶消し黒色塗装済みです。(ボディ同色塗装済み品を除く)

メンテナンスについて

- △カメラ・カメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形等の原因となります。
- △レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。但し、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

鏡像/正像切り替えについて

⚠カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切替コネクタを取り付けたり取り外したりしないでください。

鏡像で使用する場合



正像/鏡像切替コネクタを取り付けます。

※出荷時は鏡像です。

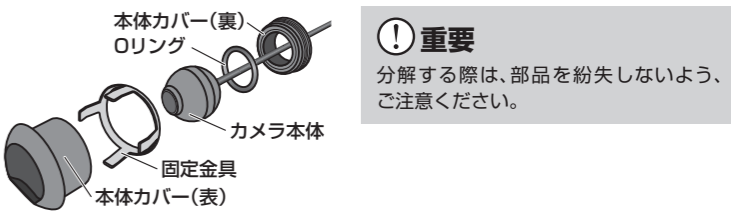
正像で使用する場合



正像/鏡像切替コネクタは使用しません。

カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。本体カバーの締め具合で、カメラ本体の動きを加減できます。

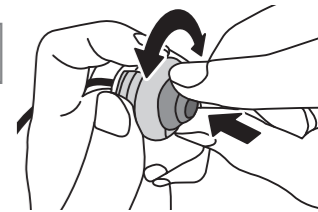


重要
分解する際は、部品を紛失しないよう、ご注意ください。

カメラ本体の動きを調整する

カメラ本体が適度な手の力で動くか確認します。

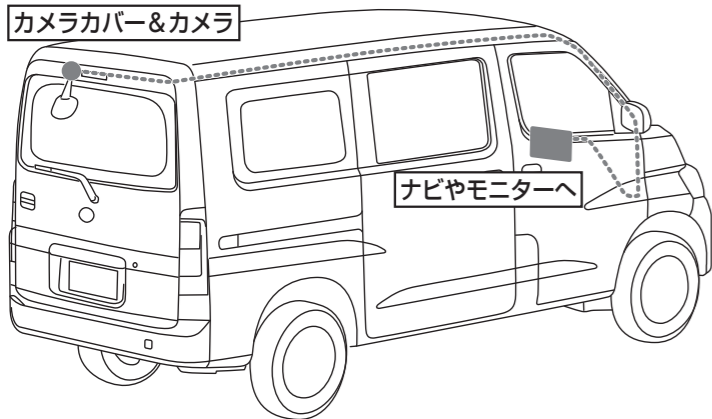
●カメラ本体を軽く押すと、動きやすくなります。



動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整します。

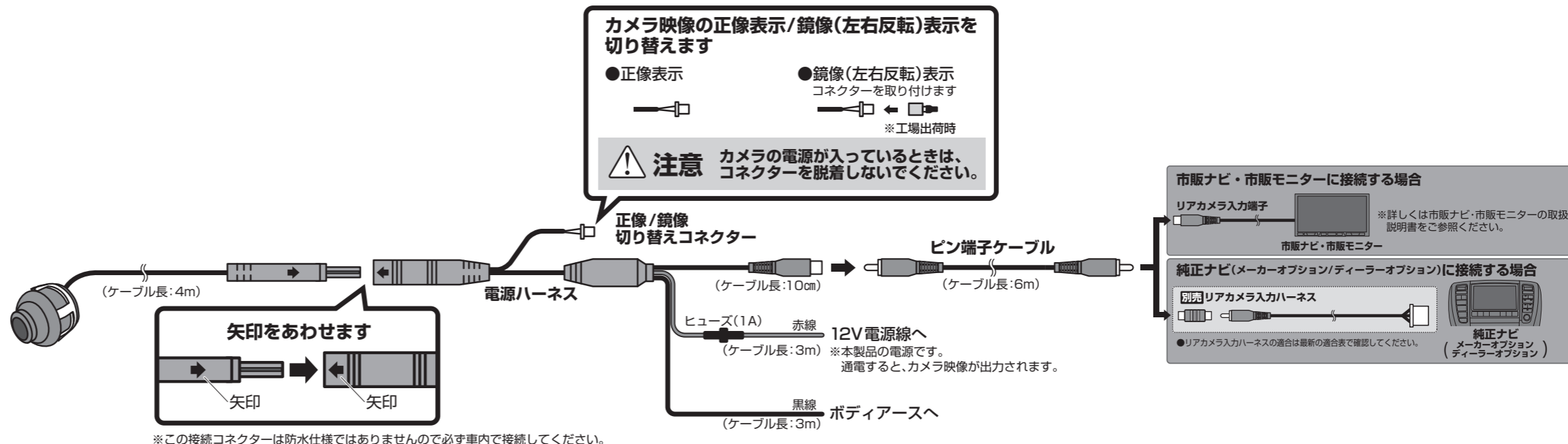


取付概要図



※取付概要図のカメラケーブル引き込み方法は一例です。装着する車両の内装の構造や装備品に合わせて適切な取り付けをおこなってください。

接続概要図

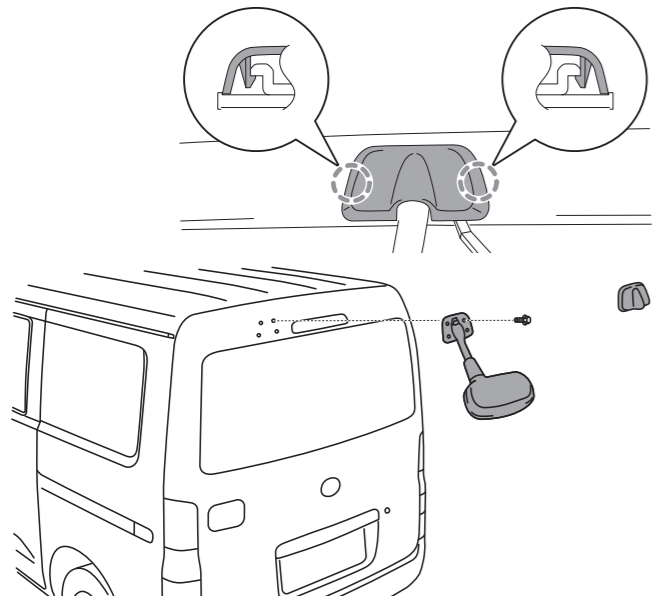


取付方法

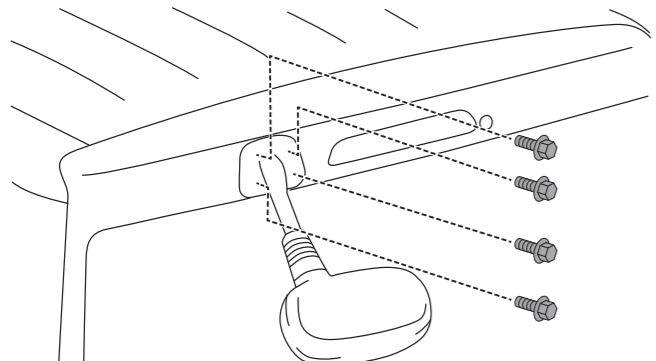
重要
●車両側のパネルや部品などを取り外す際は必ず周囲及び使用する工具に保護テープを貼り、車両側を傷付けないようご注意ください。

1. リアアンダーミラー取り外し

1-1 内張はがしを使用してリアアンダーミラーカバーを取り外す

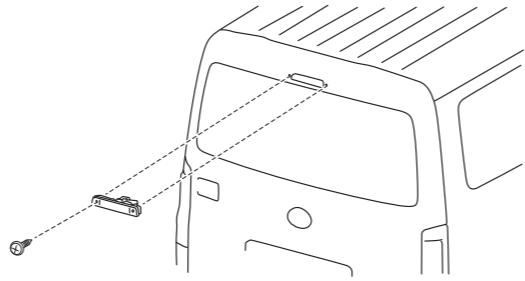


1-2 ボルト4本を取り外してリアアンダーミラーを取り外す



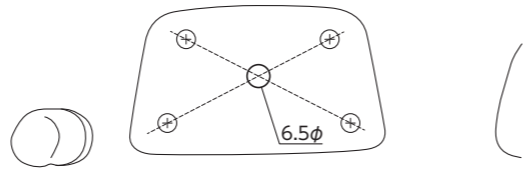
2. ハイマウントストップランプ取り外し

2-1 スクリュー 2本を取り外し、コネクターを切り離してハイマウントストップランプを取り外す

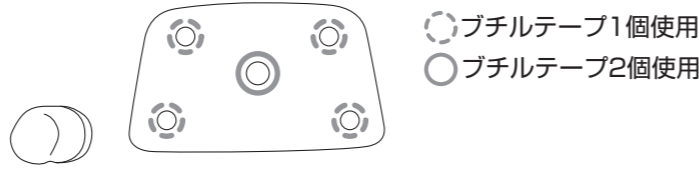


3. カメラカバー取り付け

3-1 バックドアの図で示した位置に6.5φの穴を開ける
※リアアンダーミラー固定用ボルト穴を結んだ対角線の交点が目安です。
※空けた穴は必ずさび止め処理をおこなってください。

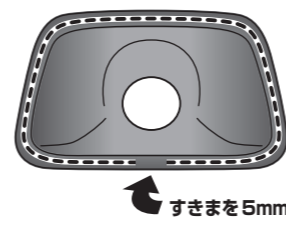


3-2 リアアンダーミラー固定用ボルト穴4箇所を付属のプチルテープで埋める
※バックドア内に水が入り込まないようにするための処理です。
※プチルテープは計5箇所の穴埋めに使用しますので、6等分にしてください。



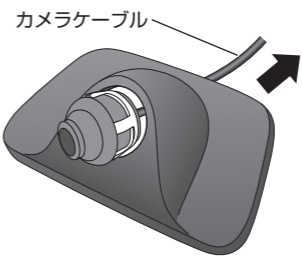
3-3 付属の両面テープをカメラカバーに貼り付ける

重要
●必ず付属の脱脂クリーナーで脱脂し、乾いたことを確認してから両面テープを貼り付けてください(脱脂クリーナーはまだ使用しますので、乾かないよう袋に入れてください)。
●図で指定している位置は両面テープを貼らずにすきまを空けてください。カメラカバーに水が入り込んだ際の水抜き穴になります。

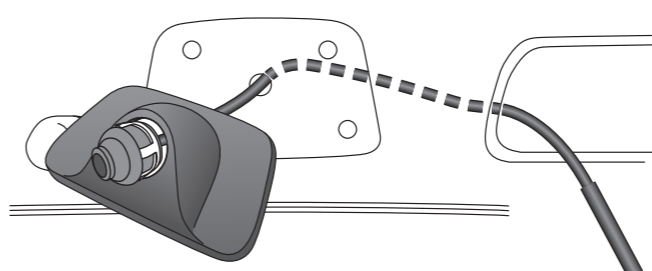


3-4 カメラカバーにカメラケーブルを通す

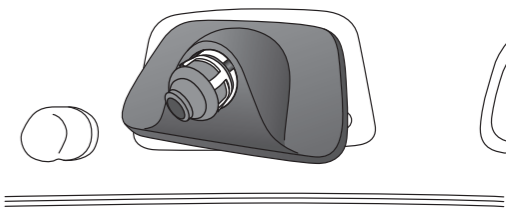
重要
●まだカメラカバーにカメラ本体をはめ込まず、カメラカバーの穴に当たる程度にしておいてください。



3-5 カメラケーブルを空けた穴に通し、一旦ハイマウントストップランプ取り付け部から引き出す



3-6 カメラカバーをバックドアにできるだけ近づけ、空けた穴を付属のプチルテープで埋める

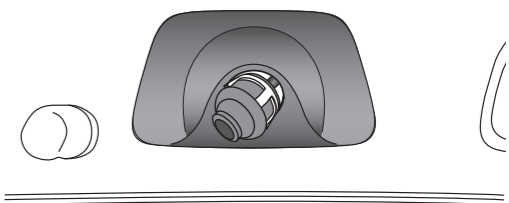


3-7 付属の脱脂クリーナーを使用して、カメラカバー貼り付け位置の汚れや油分などをきれいに拭き取る

3-8 カメラカバー貼り付け位置が乾いたことを確認してから、カメラカバーに貼り付けた両面テープの保護シートを剥がしてカメラカバーをバックドアに貼り付ける

注意 重要

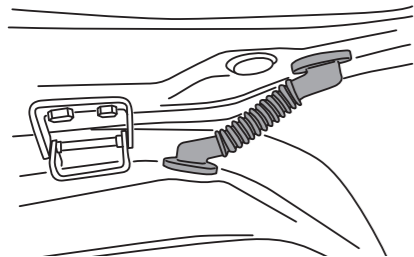
- カメラカバーが傾かないよう、慎重に貼り付けてください。
- リアアンダーミラー固定用ボルト穴4箇所全て隠れる位置に貼り付けてください。
- カメラカバーがバックドアから浮かないよう、しっかりと貼り付けてください。
- まだカメラカバーの穴にカメラ本体をはめ込まないでください。



4. カメラケーブル車内引き込み

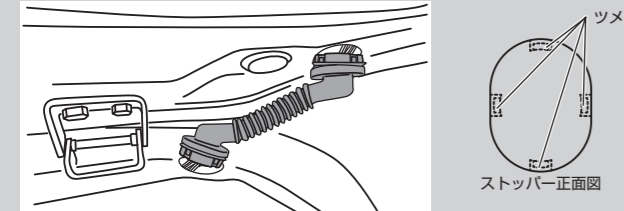
重要 ●バックドア周辺や車体右側面のルーフライニングを固定しているクリップを取り外してルーフライニングを下方へずらし、ルーフとの隙間を開けて作業してください。

4-1 バックドアの右側ヒンジ近くにあるゴムブーツの両端を外す

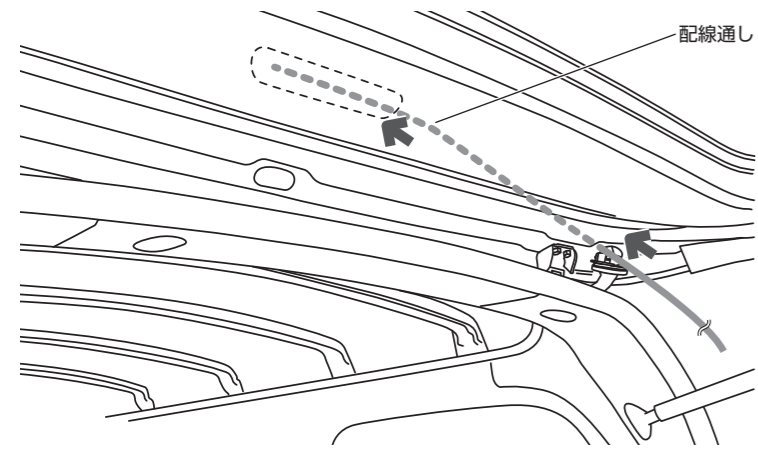


重要

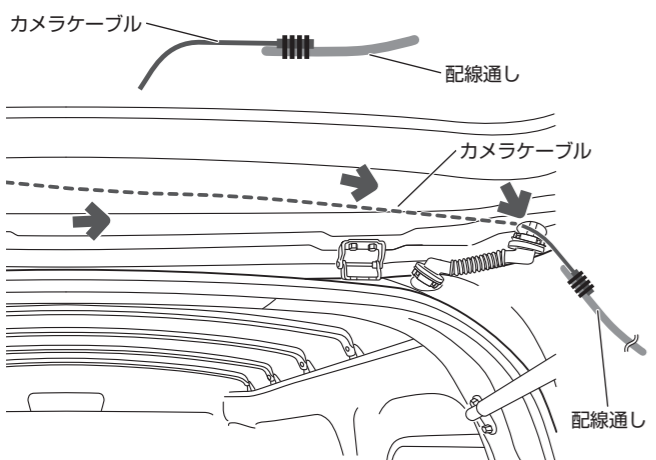
●ゴムブーツはバックドア側・車体側共に樹脂製のストッパー（ツメ4箇所）で固定されています。ゴムブーツを外す際はゴムブーツをめくり、ストッパーのツメをマイナスドライバーなどで押し込みながら外側に引き出しゴムブーツに戻しておきます。ゴムブーツを元に戻す際は、ストッパーごと穴にはめ込んでください。



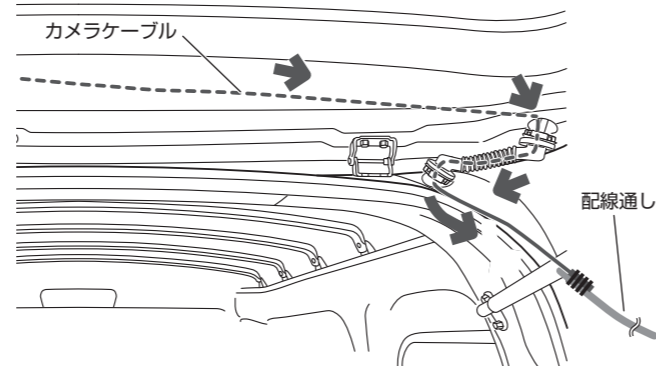
4-2 バックドアのゴムブーツを外した穴から配線通しを差し込み、ハイマウントストップランプ取り付け位置付近まで通す



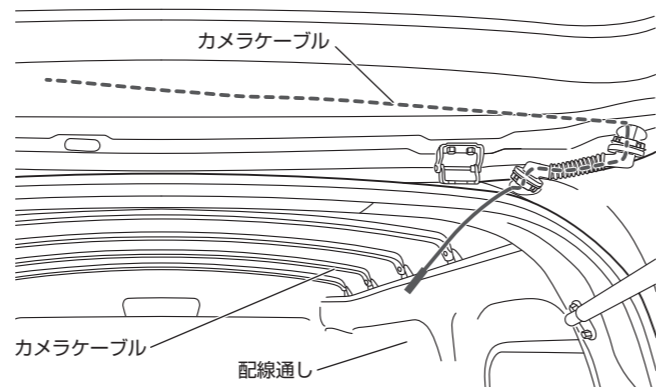
4-3 下図を参考にカメラケーブルと配線通しをビニールテープで固定し、差し込んだ配線通しを引っ張り、カメラケーブルをバックドアの穴から引き出す



4-4 配線通しをゴムブーツに通し、配線通しを引っ張りカメラケーブルをゴムブーツに通す カメラケーブルから配線通しを外す



4-5 カメラケーブルを車体側の穴に差し込み、車体とルーフライニングの間に手を入れてカメラケーブルを車内に引き込む



4-6 取付概要図を参考に、カメラケーブルを車体前方に引く

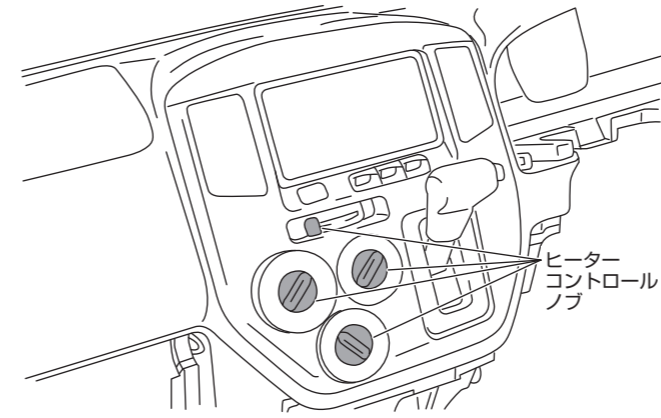
5. 電源ハーネス/カメラケーブル接続方法

取付概要図を参考に、カメラケーブルを車体前方に引き、接続概要図を参考に電源ハーネス・カメラケーブル・ピン端子ケーブルを車両側及びナビやモニターに接続する

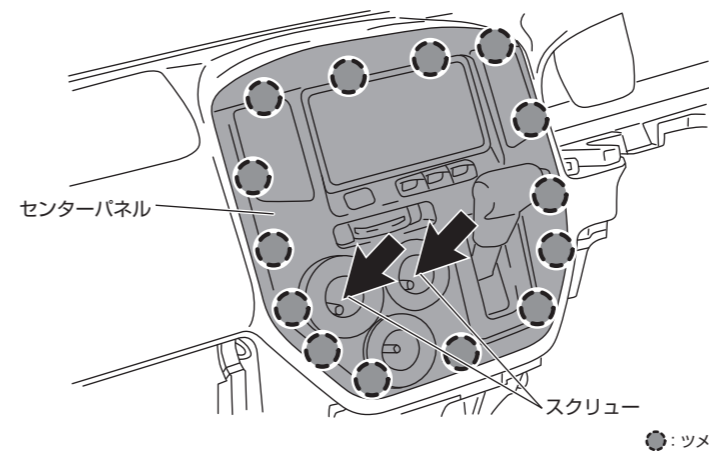
重要 ●この接続作業をおこなう前にバッテリーマイナス端子を外してください。

[参考]ナビに接続する際に必要なパネル類の取り外しかた
カメラケーブル及び電源ハーネスを引く際の参考にしてください。

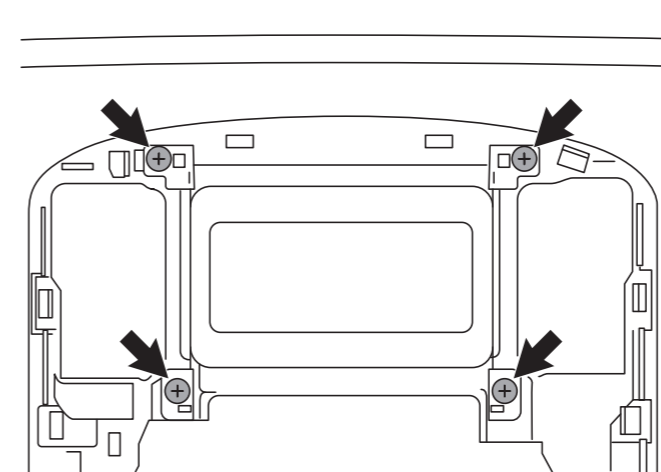
5-1 ヒーターコントロールノブ4個を手前に引いて取り外す



5-2 スクリュー2本を取り外し、ツメのかん合を外し、裏側のコネクターを切り離してセンターパネルを取り外す



5-3 ボルト4本を取り外してナビを引き出す



6. 動作確認

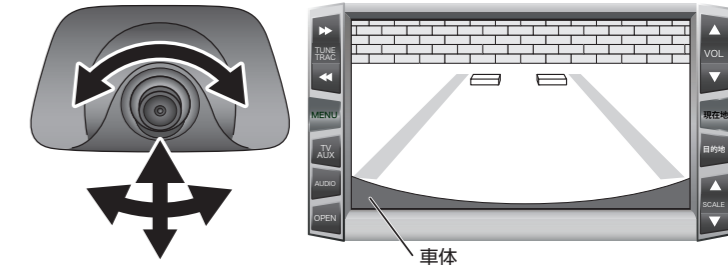
バッテリーマイナス端子を接続し、動作確認をおこなう

重要 ●画面にカメラ映像が表示されることを確認してください。
●ナビやモニターの使用方法についてはそれぞれの取扱説明書をご参照ください。

7. カメラ角度調整

7-1 カメラ本体の溝を下方方向に向け、カメラカバーにカメラ本体を半分ほど差し込みます。

7-2 カメラ映像がモニターで下図のように表示されるまでカメラの向きを調整します。



7-3 カメラ本体をカメラカバーに差し込みます。
カメラの向きを微調整します。

8. 復元作業

取り外したパネル類を取り外しの逆の手順で全て戻し、再度カメラとウォッシャー動作を確認して作業終了です。